

高月小学校からの報告

活動団体名： 高月小学校 理科クラブ

活動人数： 19人（教員2名）

取組時間： クラブの時間

調査内容 1回目：6月19日（月） 高月小学校南側用水路 
2回目：6月26日（月） 高月小学校南側用水路 

初めてみずすましの調査に参加する子どもたちがほとんどであったため、川に入る前に、道具の使い方や調査場所の選び方など、基本的なところを八木先生に教わってから取り組みました。子どもたちは、3学年混合の4チームに分かれ、上流、下流に分かれて川に入りました。流れも速いので、ざるをもって動かしながら歩いて採集しました。カワニナ、トビケラなどが多く見られました。僅かですがドンコやザリガニも見られ、生き物がこんなに色々いるとは知らなかった、とびっくりする子が多くいました。6月26日の2回目の調査では、この水路の少し下流に調査範囲を移して活動しました。同じように、ざるを使っての調査を行い、カワニナやウズムシなどを多数見つけました。2回目の調査も八木先生に来ていただき、水質と生きものの種類について教えていただきました。



調査員の感想

水草がない、隠れる場所もない水路なので、生き物はいないと思っていたが、色々な種類の生き物がいることが分かってびっくりした。同じ水路でも、調査場所、時間を変えるといる生きものが違うことが分かった。前に見つけた生きものを、2回目にも見つけた。名前を覚えることができた。家の周りの水路ではどうなのか調べてみたいと思った。

捕まえた生き物たち

昨年の調査と比べると、同じようにカワゲラ、ガガンボ、ウズムシ、カワニナなどが見つかった。カワムツ、ドンコ、ナマズなど、魚の間もいろいろ見つかりました。この水路の周りに生息するハグロトンボのヤゴの間も見つかりました。コカゲロウも生息しており、水路を中心として、生き物たちが暮らしやすい環境になっていると思われます。

調査のまとめ

この水路での調査は、過去5年継続して行っています。データを比べたところ、大きく変化はしていません。1回目の水質階級は、「Ⅱ」でしたが、2回目は調査範囲を少し広げ、下流でも調査したところ、水質階級は「Ⅰ又はⅡ」となりました。調査実施日の天候や時刻など、いろいろな要因はありますが、昨年と比べて水質の悪化は見られません。砂などで濁ることはあっても水質は保たれているようです。子どもたちが、こんなに生き物がいるとは知らなかった、と驚いていたように、コンクリートの用水路でも、多くの生き物が生息していることが改めて分かりました。

これからも、この環境を保ち、今生息している生き物たちがこれからも豊かに暮らすことができるように見守っていきたいと思います。



活動の様子



【高月小学校南用水路 第1回目調査】



【第2回目調査】



【広い範囲を協力して調査】



【指標生物の種類を確認】



【指標生物の数を確認】



【トビケラ、カゲロウがいるね】



【カワゲラも見つかった】



【生き物の名前を覚えたよ】



【記録して比べよう】



【場所が違ってても同じ生き物がいると分かったよ】

